

避難とは「難」を「避」けることです。

小中学校や公民館に行くことだけが避難ではありません。
普段から災害発生時にどう行動するか決めておきましょう。

●行政が指定した避難所へ避難

マスク・消毒液・体温計・スリッパなどは自ら携帯してください。

●安全な親戚・知人宅へ避難

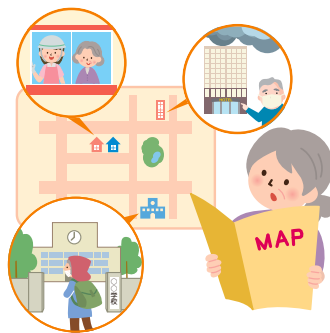
ハザードマップで安全かどうかを確認し、普段から災害時に避難することを相談しておきましょう。

●安全なホテル・旅館へ避難

ハザードマップで安全かどうかを確認し、事前に予約・確認をしましょう。通常の宿泊料が必要です。

●屋内安全確保

ハザードマップで以下の「3つの条件」が確認できれば、浸水の危険があっても自宅にとどまり、安全を確保することも可能です(土砂災害の危険がある区域は立ち退き避難が原則です)。



①家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていないこと

入っていると、木造家屋の倒壊や地面が削られることにより、家屋が建物ごと崩落するおそれがあります。

②浸水深より居室が高いこと

③水がひくまで我慢でき、水や食料などの備えが十分あること
十分でない、水・食料・薬などの確保が困難になるほか、電気・ガス・水道・トイレなどの使用ができなくなるおそれがあります。



加茂川水系
洪水浸水想定区域図
(三重県ホームページ)



みなさんは鳥羽で大型草食恐竜の化石が見つかったことをご存じですか？
1996年、安楽島町の砥海岸で恐竜の化石が発見されました。ここは以前から化石が出る場所として知られており、そこを訪れた化石研究者が恐竜化石を発見しました。調査研究の結果、アジア地域で生息していた大型草食恐竜「ティタノサウルス科の仲間」という鑑定がされました。まだ全体の骨格が発見されていないので学名はつかず、「鳥羽竜」というニックネームがつけられました。発掘された化石はクリニングや今後の調査のため三重県立総合博物館で展示保管されています。
鳥羽恐竜研究振興会では、鳥羽竜の紹介と化石発見地の保全活動を行っています。

108SMILE 市民活動団体紹介 つながり. 14

鳥羽恐竜研究振興会

108SMILE ホームページ
URL <https://108smile.jimdofree.com/>



市民課人権・市民交流係
☎ 25 1126

鳥羽竜化石が発見された場所は、小公園として整備され、鳥羽竜の紹介と化石のレプリカが展示されています。また、この場所は中生代白亜紀の地層「松尾層群」があるため、化石発掘などの体験学習の場として親しまれています。

その他の活動としては、市内小学生を対象に福井県立恐竜博物館などを訪ねる「夏休み宿泊体験活動」、修学旅行の化石採集・化石レプリカづくりの実施、市民文化祭での「ミニ化石展」を開催し、鳥羽竜や化石に親しんでもらう活動を行っています。

化石は地球上に恐竜たちがすんでいたという証拠を示しています。この貴重な財産を教育や観光の場で生かしていきたいと考えています。

夏休みの自由研究に、「恐竜化石」をテーマに取り組んでみてはいかがでしょう。新たな発見があるかもしれません。

